

1
2
3
4
5
6
7
8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1

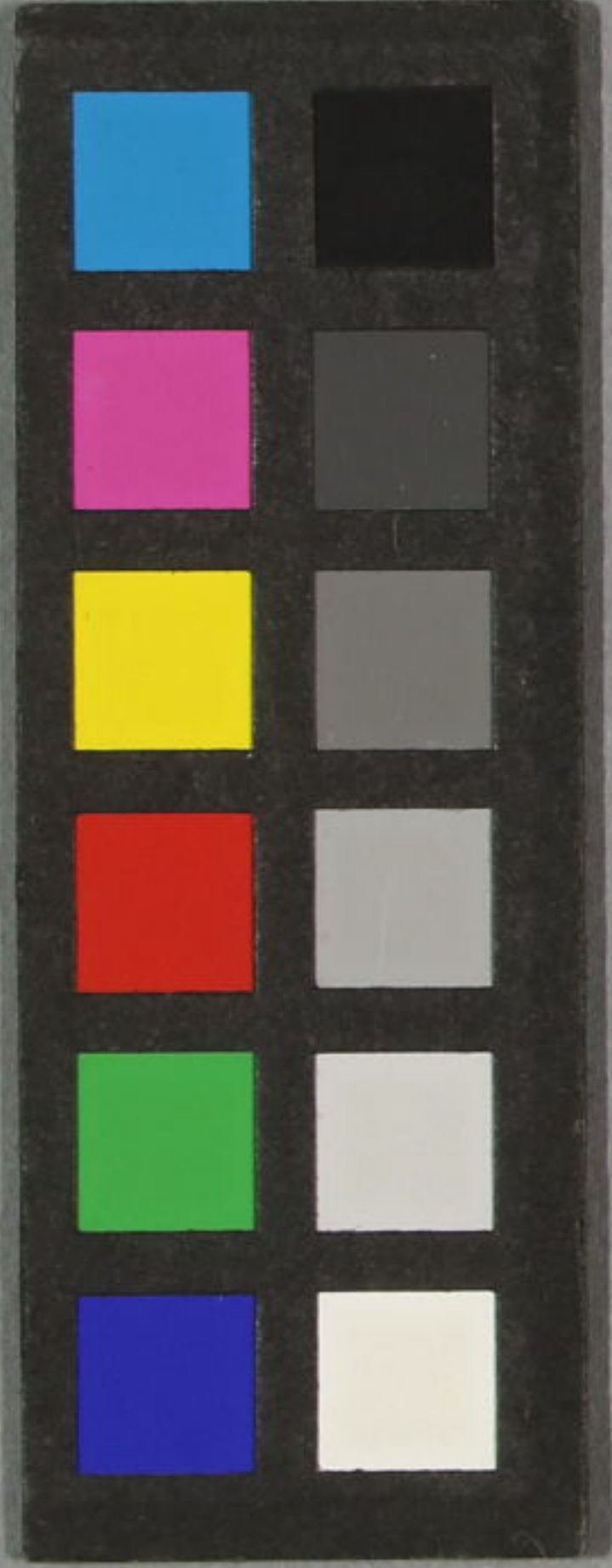
一陽齋豊國画



錦重
堂梓

下

~ 13
3785
42



門 13
號 3785
卷 42

海月
年
海
下の
應
玉

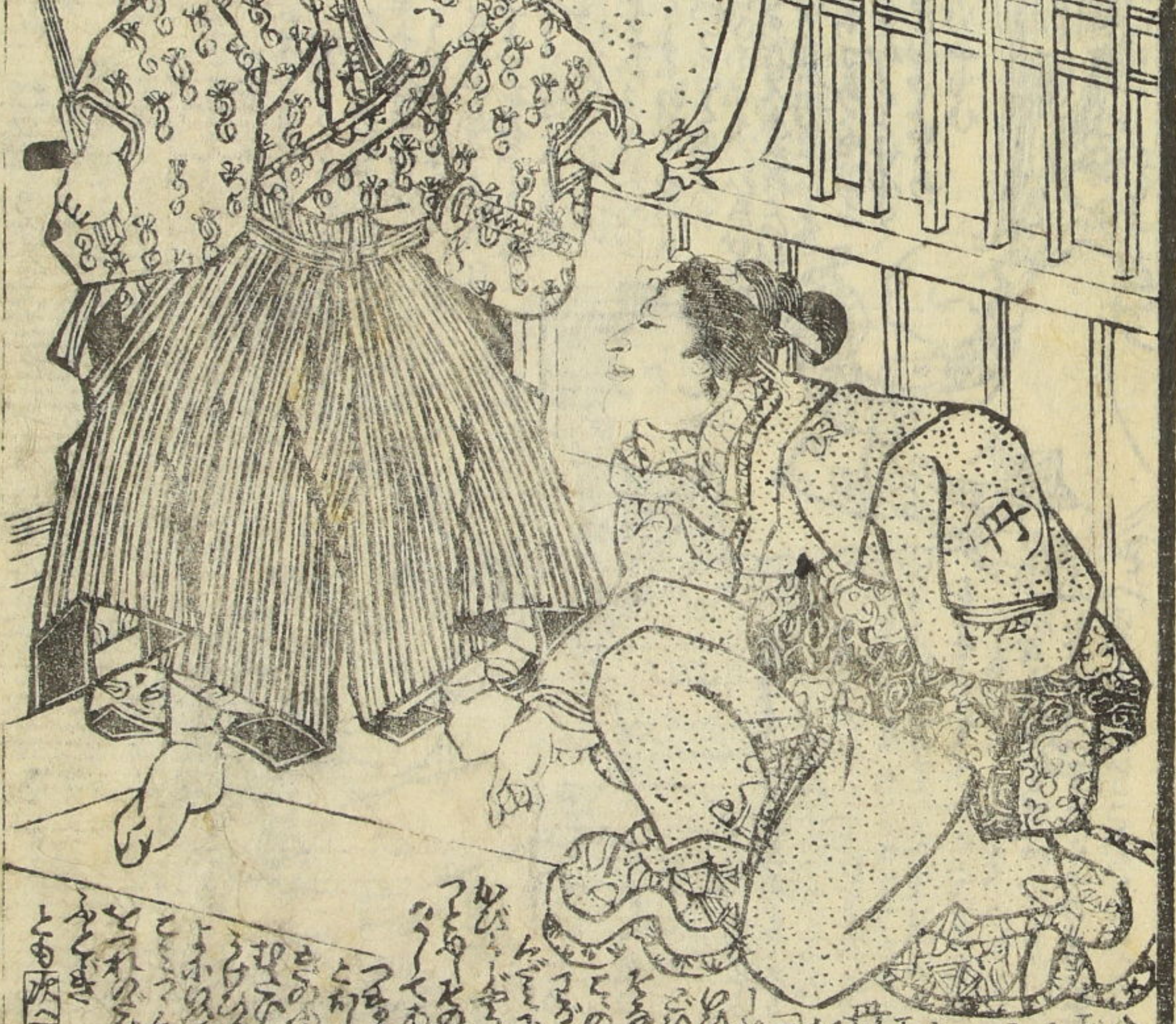


其の
と
は

月
圓

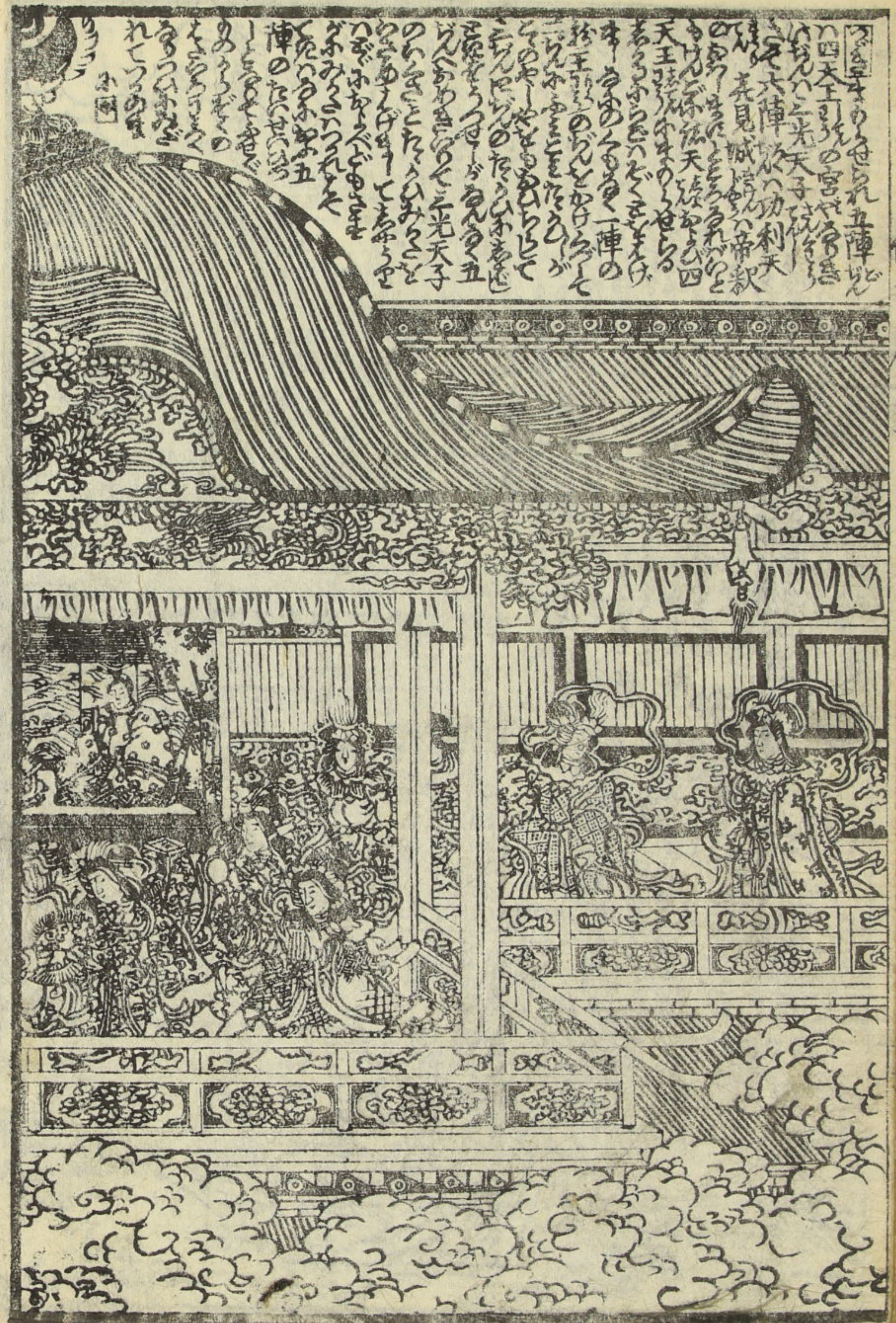
三
福

正の... 丹車... 白殿王... 丹車女...
丹車女は丹車に乗る女也... 丹車は丹車女に乗る也...
丹車女は丹車に乗る女也... 丹車は丹車女に乗る也...

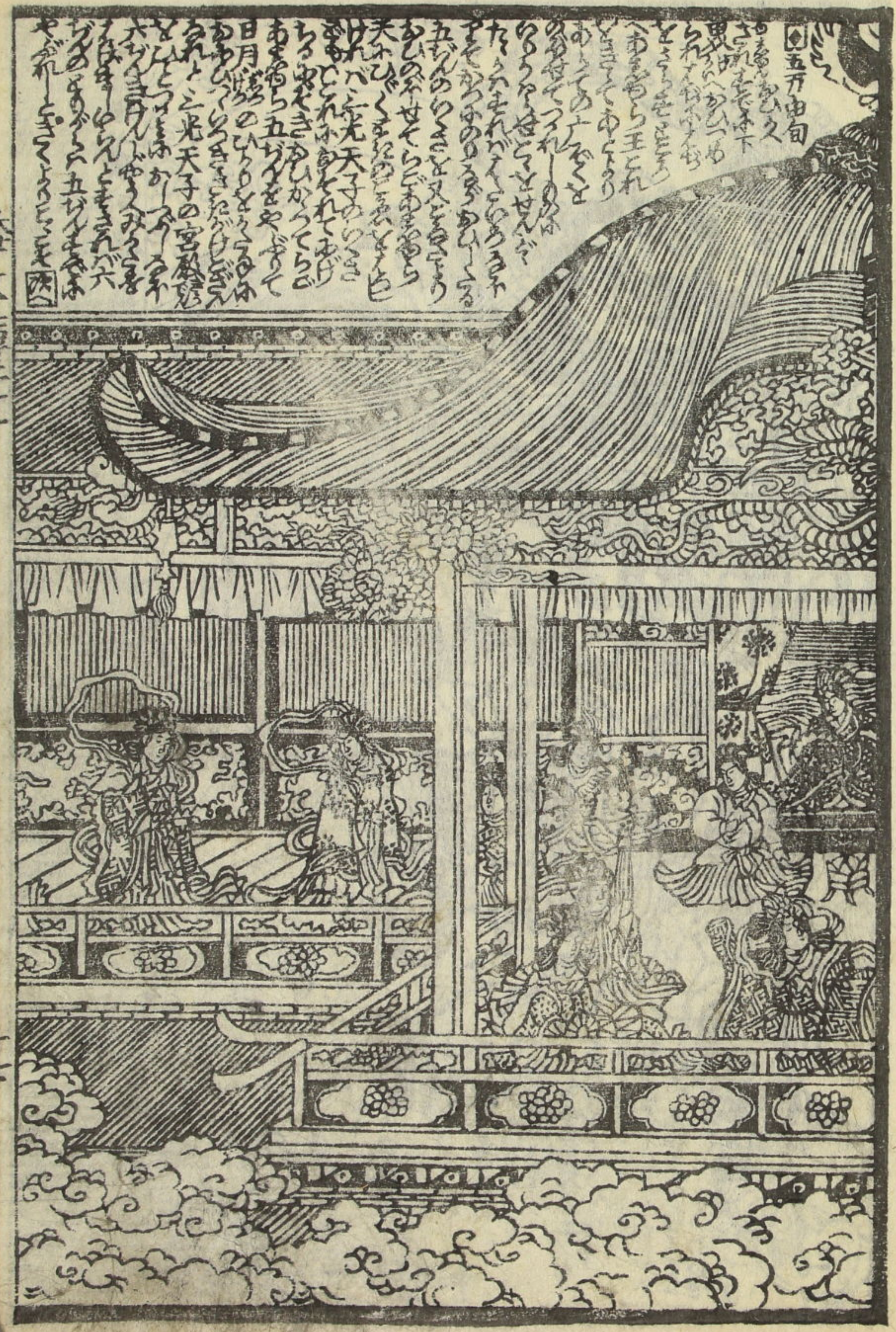


丹車女... 丹車... 丹車女... 丹車...
丹車女は丹車に乗る女也... 丹車は丹車女に乗る也...





四天王の宮や
大陣の功利天
天皇の御座り
神のたはせ
光天子の宮
大陣の功利天
天皇の御座り
神のたはせ
光天子の宮
大陣の功利天
天皇の御座り
神のたはせ
光天子の宮



五万由旬
光天子の宮
大陣の功利天
天皇の御座り
神のたはせ
光天子の宮
大陣の功利天
天皇の御座り
神のたはせ
光天子の宮



万亭應賀作の二陽齋豊国画



此の畫は、
萬亭公の御作也。
陽齋公の御作也。
豊国公の御作也。
此の畫は、
萬亭公の御作也。
陽齋公の御作也。
豊国公の御作也。
此の畫は、
萬亭公の御作也。
陽齋公の御作也。
豊国公の御作也。

四天王

